

高度計装アライアンスグループ 概要

活動の領域

はじめに

プラントの周辺ではビジネス環境が劇的に変化している。加速する海外への生産移転、その背景にあるコスト競争の激化、熟練技術者の減少による技術伝承の困難さの増大、それに伴う事故の発生等、プラントを取り巻く環境は決して楽観を許すことばかりではない。

そのような環境の中でシビアな競争に生き残るには今までの活動の延長線上にはないブレークスルーが必要である。新技術が常に要求されることは論を待たないが、既存の技術の中にもそれらをさらに有効活用することによりもたらされるメリットも決して小さくないはずである。ただそれにはそれをドライブする業界横断的な強力なイニシャティブが必要である。

そのような観点から「高度計装アライアンスグループ」というプラント機能活性化のための仕組みづくりを行った。会員の数が増えるほど利用できる技術やサービスのリソースが増え、その活動の効果は大きく社会に貢献するはずである。元気がないといわれる日本の復活の一つの切り口としたい。

活動の領域

プラントを支えている技術群はフィールド技術をベースとしてその水平方向のあらゆる技術、さらに時間軸方向のメンテナンス技術など、様々なものがある。またその中には信頼性の高い確立されたアナログ技術もあれば最先端のデジタル技術など、多層的な技術が入り混じってやや戸惑い気味に次世代の展開を窺っている。

一方で垂直方向にはフィールドにおける制御技術から経営層の経営支援ツールに至るまでのピラミッドを構成する情報マネジメントの世界がある。またその途中に水平、垂直方向の広がりを持ったアセットマネジメントシステムや安全計装の技術などがある。

このようなマトリックスを構成した技術の投影が現在のプラントの形である。

繰り返しになるがこれらの技術の浸透度合いには濃淡があり、有用な技術も必ずしも十分に有効活用されているわけではない。これらすべての領域にわたり、あらゆる活動を支援することが「高度計装アライアンスグループ」の設立趣旨である。

会員種別と特典

<会員カテゴリーA1>

計装機器関連メーカー、メーカーサポートエンジニアリング会社など
(総合計装機器メーカー、バルブメーカー、ソフトウェアなど)

ねらい:

- 関連企業とのアライアンスによる One Stop Solution の実現
- 高度ソリューションの、フィールドへのより一層の浸透
- 関連規格団体との実務的なコラボレーション

事務局からの会員に対するアクション:

- プロジェクト毎のアライアンスフォーメーションの働きかけ
- あらゆる局面でのプロジェクトの情報提供
- アライアンスチーム間相互あるいは技術推進団体等からの技術支援サポート
- 展示会等の側面支援
- OEM 等、会員相互間の協業サポート

<会員カテゴリーA2> 計装機器関連サービス会社 (プラント周辺のメンテナンス会社など)

ねらい:

- 関連メーカーとのアライアンスによるメンテナンス機会の増大
- 高度計装技術へのメンテナンスサイドからのアプローチ機会の増加

事務局からの会員に対するアクション:

- サービス会社カバーエリアに納入された会員メーカー製品のメンテナンス依頼
- メンテナンスのための技術支援と情報提供

<会員カテゴリーB1> プラントメーカー、エンジニアリング会社 (EPC、ユーザー系エンジニアリング会社など)

ねらい:

- ベンダー選択肢の増大
- ベンダー関連情報の効果的な収集

事務局からの会員に対するアクション:

- プロジェクトで要求される製品、メーカーの紹介

<会員カテゴリーB2> エンドユーザー (化学メーカーなど装置産業系メーカー)

ねらい:

- 効果的な計装機器情報・関連技術情報の収集
- 問題解決のための高度技術選択肢の増大
- メーカーサイドとの効果的な連携による新技術導入

事務局からの会員に対するアクション:

- 関心事項に対する技術交流会の開催
- 問題解決のための技術、製品の紹介
- メーカーを同伴しての技術セッションの開催

<会員カテゴリーC1> 技術推進団体

(技術規格の団体など)

ねらい:

- メーカーとの連携強化
- 技術・規格の実ジョブへの導入促進
- 普及活動機会の増加

事務局からの会員に対するアクション:

- 技術の普及のためのメーカーとの連携をサポート
- メーカー、ユーザーを交えた定期的な技術セッションの開催

<会員カテゴリーC2> 大学、研究機関

(大学の理工系学部など)

ねらい:

- 研究テーマの応用技術へのアプローチ促進
- 産学共同事業の効果的な推進

事務局からの会員に対するアクション:

- メーカーとのさまざまな交流機会の提供
- 定期的な技術セッションの開催

<会員カテゴリーC3> メディア

(計装技術専門誌、プラントエンジニアリング専門誌など)

ねらい:

- 高度技術推進のための社会貢献
- 記事ソースの継続的な確保

事務局からの会員に対するアクション:

- 実ジョブでの新技術成功事例の記事ソースの提供
- メーカー、ユーザー等とのインターフェース